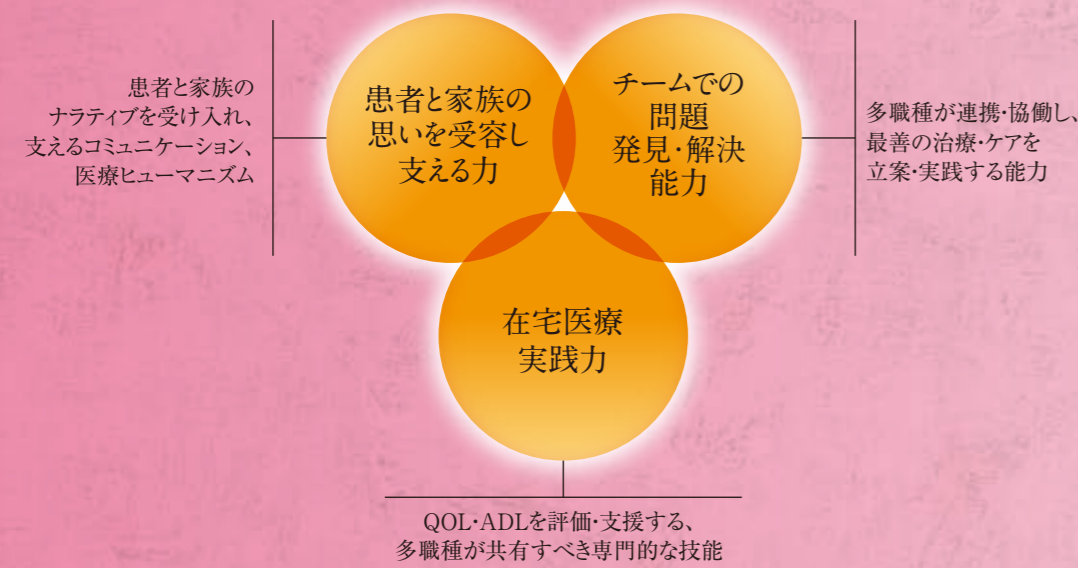


在宅チーム医療で活躍する 医療人の養成

《 在宅チーム医療で求められる医療人 》



日本の医療では、慢性疾患や長期の療養・介護など、病院から移行して、地域・在宅医療が大きな役割を担うようになってきました。

在宅医療や介護においては、患者の望む生活とQOLの維持向上を支えること、また多様な疾患を合併することの多い患者の病状を把握するため、地域の多職種が連携・協力したチーム医療での取り組みが必要です。

本プロジェクトでは、こうした社会のニーズに応える「在宅チーム医療で活躍できる医療人」に求められる資質、すなわち「思いを受容し支える力」「チームでの問題発見・解決能力」「在宅医療実践力」を修得するプログラムの構築を目的とします。

本学の医系総合大学である特色とこれまでのチーム医療教育の取り組みを活かし、段階的・体系的な学部連携、さらに大学と地域が連携した教育カリキュラムの構築をめざします。また医療人の育成

では、在宅チーム医療で求められる基本的な知識・技能・態度を醸成したのち、地域での参加型の在宅チーム医療実習を実施して、患者と家族を支える医療人に必要な能力の修得をめざします。



昭和大学キャンパス・附属病院

CAMPUS



HOSPITAL



ACCESS



在宅チーム医療教育推進室
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL.03-3784-8014 <http://homepharmacist.jp/>

患者と家族の思いを支え、在宅チーム医療を実践する医療人養成プログラム

文部科学省「課題解決型 高度医療人材養成プログラム」(平成26～30年度)
大学と地域で育てるホームファーマシスト

在宅チーム医療教育推進 プロジェクト



SCHOOL OF MEDICINE

SCHOOL OF DENTISTRY

SCHOOL OF PHARMACY

SCHOOL OF NURSING AND
REHABILITATION SCIENCES



HOME EDUCATION CARE INTERPROFESSIONAL TEAM MEDICINE



チーム医療教育を実現する 医系総合大学

昭和大学は、4学部6学科がそろった医系総合大学です。1928年に創立以来、至誠一貫の精神のもと、優れた医療人を輩出しています。大学の教育理念には「学部の枠を越えてともに学び、互いに理解し合え、協力できる人材を育成する」とうたっており、チーム医療に積極的に貢献できる人材育成を全学部に通ずる教育の目的としています。

昭和大学ならではの個性、「チーム医療」教育

本学では医系総合大学の特色を大きく活かした独自のチーム医療教育を実施しています。1年次は富士吉田キャンパスの全寮制で、4学部の学生は学習と生活の両面から協同し合い、チーム医療の精神の基盤を育みます。また8つの附属病院では、4学部の教員・病院スタッフの連携のもと、低学年からチーム医療実習をはじめ全学部のさまざまな実習を受け入れています。このような環境のもと、全国的に先駆けて学部連携のチーム医療教育を導入してきました。その一層の拡充をめざし、平成18年度からカリキュラムの改善・整備を進め、体系的な学部連携教育カリキュラムを構築しました。これは全学部・全学年にわたり、学年が進むに従って、体系的、段階的に学習の場と内容を広げた、参加型学習によるカリキュラムです。



～ 昭和大学のチーム医療教育 ～

4学部全学年にわたる学部連携型の体系化された学習カリキュラム	年次のステップに合わせて、学習の場と内容を広げていく段階的なカリキュラム
学部混合グループによる参加型学習スタイル	附属病院をはじめ、数多くの医療現場で実習



4学部が連携して、全学年にわたって展開する「昭和大学独自のチーム医療教育」。低学年ではチーム医療の基盤づくりとして、体験実習やPBLチュートリアルなどの問題解決型、医療人マインドを醸成する学習。高学年では医療現場や地域で、実践的で専門性の高いチーム医療学習を行います。



全学部・全学年にわたる、体系的なチーム医療のカリキュラム

昭和大学のチーム医療カリキュラム

TEAM CURRICULUM MEDICINE

在宅チーム医療教育推進プロジェクト

HOME EDUCATION CARE INTERPROFESSIONAL PROJECT MEDICINE



在宅チーム医療教育推進プロジェクト

～ 大学と地域が連携したプログラムの構築 ～

●プロジェクトの達成目標

在宅チーム医療で活躍できる医療人を養成するための、体系的・段階的な4学部連携**カリキュラムの構築と円滑な実施**

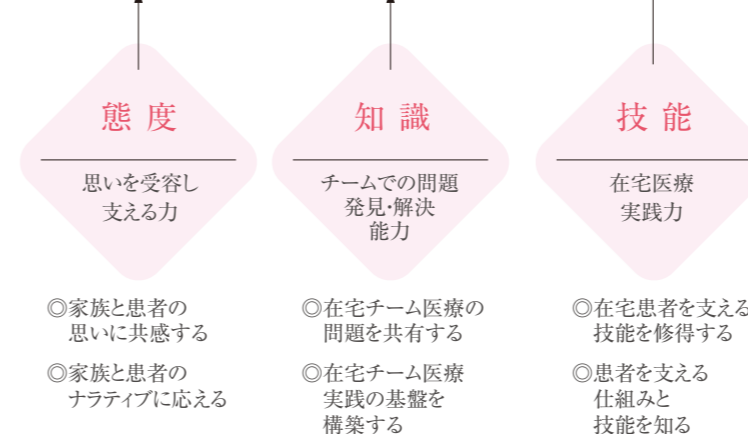
在宅チーム医療で求められる専門性を修得し、地域の多職種と連携・協働して、患者の治療・ケア・支援を実践する**医療人の育成**

在宅チーム医療教育に必要な学生指導能力を修得した、**地域医療における指導スタッフの養成**



●教育目標

学生チームが地域の多職種のスタッフと連携し、患者とその家族を支える



●カリキュラム推進のロードマップ

医・歯・薬	保健医療	カリキュラム名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
6年次	4年次	学部連携在宅実習		実施			
4年次	3年次	在宅シミュレーション演習・実習					実施
		4学部連携PBLチュートリアル					実施
3年次	2年次	高齢者コミュニケーション実習					実施
		在宅医療支援実習					実施
2年次		在宅医療の倫理(各学部)					実施
1年次	1年次	4学部連携PBLチュートリアル					実施
		福祉施設体験実習					実施
		地域高齢者訪問実習					実施
		地域医療指導スタッフの養成					実施
		在宅における臨床判断					実施
		在宅チーム医療演習					実施

●現行のチーム医療カリキュラム

- ◎学部連携アドバンス病院実習
- ◎学部連携地域医療実習
- ◎学部連携病棟実習
- ◎病棟実習シミュレーションPBLチュートリアル
- ◎臨床シナリオPBLチュートリアル
- ◎各学部体験実習(附属病院・地域医療・福祉施設など)
- ◎チーム医療の基盤PBLチュートリアル
- ◎初年次体験実習

学部連携在宅実習

今回プロジェクトのカリキュラム



学部連携地域医療実習

在宅医療におけるチーム医療を実践します。地域の医療機関、薬局、訪問看護ステーションなどの現場で、地域医療機関の連携、現状や課題を理解します。



学部連携病棟実習

4学部の学生がチームを組み、附属病院の入院患者さんを担当します。各学部で学んだ専門性を発揮し、チーム医療を現場で実践する1週間の実習です。

卒業
↑
入学